



かがやき

3月号 NO.13

令和8年2月28日



努力の實りと感謝の心を胸に

校長 吉澤 充

ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックが、今月6日から22日までの17日間にわたり、8競技116種目で開催されました。世界中の選手が、この日のために4年間努力を重ね、練習の成果を存分に発揮していました。私自身、競技の結果に一喜一憂する場面もありましたが、それ以上に、技術の高さや美しさ、スピード、飛距離、そして選手の表情や言葉から伝わってくる迫りに胸を打たれました。画面越しであっても、見ている私たちが勇気や希望をもらえるのは、選手たちが積み重ねてきた努力の重みが伝わってくるからなのだと思います。



オリンピック選手は、幼い頃から明確な夢を持ち、長い年月をかけて努力を積み重ねてきました。人は、目標があるからこそ苦しい練習にも向き合えますし、続けることができます。そして、プレッシャーのかかる場面でも、努力に裏打ちされた自信が背中を押し、大きな舞台で最高のパフォーマンスを発揮することができるのです。本校の児童にも、夢を持つことの大切さを伝えていますが、同時に「小さな目標」を持つことも大切にしています。「今学期には〇〇ができるようになりたい」「校外学習では〇〇に挑戦したい」など、日々の学校生活の中で自分なりの目標を立て、その達成に向けて努力することを大切にしています。そして、振り返りを行い、次の目標につなげていく。この積み重ねこそが、子どもたちの成長を確かなものにしていきます。

オリンピックの場面で特に心に残ったのは、メダルを獲得した選手も、惜しくも届かなかった選手も、必ず「支えてくれた人への感謝」を口にしていたことです。家族、指導者、仲間、地域の人々…。どの選手も、競技を終えた瞬間に自然と感謝の言葉があふれていました。「感謝の言葉は、努力を積み重ねた人ほど自然に出てくる」という言葉がありますが、まさにその通りだと感じました。本校の児童にも、周りの支えに気づき、感謝を言葉にできる人になってほしいと願っています。子どもたちが毎日安心して学校に通い、運動や勉強に一生懸命取り組むことができるのは、地域の見守りの方々、PTAの皆様、読み聞かせやミシンボランティアの方々など、多くの方々の支えがあるからです。安全な登下校、充実した学習、楽しい学校行事、そして家庭での温かい励ましや毎日の食事…。その一つ一つが、子どもたちの成長を支えています。

3月は、1年間のまとめの時期です。学校では、これまでの自分の成長を確かめるとともに、そのために努力してきたことをしっかり認めてあげたいと思っています。そして、それと同じくらい、「自分は多くの人に支えられている」ということに気づいてほしいと願っています。支えてくれた人に「あり

がとう」と伝えることは、相手を大切に作る気持ちの表れであり、人と人をつなぐ大切な力です。

ぜひこの3月、子どもたちには感謝の言葉や挨拶をたくさん届けてほしいと思います。1年間の成長を胸に、感謝の心を忘れず、次の学年へと進んでいってほしいと願っています。

前号の学校評価でお伝えできなかった結果をお知らせします。

平日の放課後の過ごし方について

○宿題や家庭学習をどのくらいしていますか。
一番近いものを教えてください。

	児童評価	保護者評価
30分未満	35.9%	30.1%
30分以上1時間未満	33.0%	54.2%
1時間以上1時間30分未満	20.1%	11.2%
1時間30分以上2時間未満	5.8%	3.2%
2時間以上	5.2%	1.2%

○家で SNS や動画視聴、ゲームなど、合わせてどのくらいしていますか。

	児童評価	保護者評価
していない、持っていない	15.9%	5.2%
1分以上30分未満	12.9%	11.2%
30分以上1時間未満	19.1%	23.3%
1時間以上1時間30分未満	10.7%	24.9%
1時間30分以上2時間未満	9.1%	13.7%
2時間以上	32.4%	21.7%

※児童評価は全児童の合計に対する割合を示しています。

結果から

児童と保護者の回答を比べると、家庭学習やメディア利用の時間について、互いの受け止め方に少し違いがあることが分かりました。こうした結果から、家庭での過ごし方を親子で話し合うきっかけにさせていただければと思っています。学校でも、生活習慣づくりを支える取り組みを続けていきます。

きらきらフェスティバルの実施

1月30日(金) たてわり班で工夫を凝らしたお店をつくり、お互いに楽しむ「きらきらフェスティバル」を行いました。1年生から6年生までが役割を果たし、どの班も相談しながら仲良く活動を楽しむ姿が見られました。



幼保小交流会の実施

2月6日(金) 近隣の幼稚園・保育園の年長さんを招き、1年生が交流会を行いました。校舎内の案内や小学校クイズを通して優しく接する姿が見られ、1年生が頼もしいお兄さん・お姉さんとなって活躍していました。



なかよし学級の校外学習の実施

2月3日(火) なかよし学級の児童が生活単元学習として買い物体験を行いその後、鶴ヶ島運動公園へ行きました。限られた予算での買い物や、お店・公園でのマナーを学ぶ貴重な機会となりました。



6年生による奉仕活動の実施

2月16日(月) 6年生が卒業を前に、感謝の気持ちを込めて給食着をかけるフックの制作、縄跳び台のペンキ塗り等の奉仕活動を行いました。

